

国際的なイベントと感染症 (2)

静岡県立静岡がんセンター 感染症内科部長 倉井華子

静岡県で開催予定の 2019 年のラグビーワールドカップ、2020 年のオリンピック・パラリンピック自転車競技に先立ち、今回は国際交流に基づき、広がりやすい感染症として麻疹についてお話をしました。今回は渡航歴のある患者の発熱を見た時の診断アプローチについてお話をします。渡航歴のある患者では、潜伏期間、滞在していた国（可能であれば都市名）、症状が診断するうえで大切な手がかりとなります。渡航歴では、現地での食事歴、虫の曝露、淡水、土壌、性交渉、哺乳類との接触そして sick contact にも留意が必要です。

途上国に渡航歴がある患者が発熱で来院した際に、忘れてはならないのは以下の 4 つの疾患です。インフルエンザは上気道症状がありますが、ほかの疾患では発熱以外に特異的な症状を欠くのが特徴です。

- ・ デング熱
- ・ マラリア
- ・ チフス・パラチフス
- ・ インフルエンザ

インフルエンザは日本では冬に流行しますが、南半球では日本と逆のシーズンに流行します。また赤道付近では 1 年を通じインフルエンザの患者が発生しています。国際的なイベントは夏に予定されており、インフルエンザを見逃す可能性があります。海外とは関連しない発熱（肺炎、尿路感染症、結晶性関節炎）なども多いため、一般的な発熱の鑑別も忘れないでください。

潜伏期間も原因微生物の絞り込みに重要です。帰国後 10 日以内の発熱ではウイルス感染症や感染性腸炎が多く、10 日を過ぎるとマラリアやチフス・パラチフスなど考える必要があります。HIV 感染症のように時に 1 か月以上たってから出現するものもあります。通常の間診でも直近の渡航先だけではなく、1 年以内の渡航歴も聴取することをお勧めします。

表1 潜伏期間と感染症

| 潜伏期間 | 感染症 |
|-------|---|
| 10日以内 | 感染性腸炎, インフルエンザ, 黄熱, デング熱, チクングニア熱, 髄膜炎菌感染症, リケッチア症 |
| 1か月以内 | マラリア, チフス, パラチフス, レプトスピラ症, リケッチア症 A型肝炎, E型肝炎, トリパノソーマ, ブルセラ症 |
| 1か月以上 | 狂犬病, ブルセラ症, 赤痢アメーバ, リーシュマニア症 ヒストプラズマ症, ペニシリウム症, 結核, 急性HIV感染症 |

症状も原因微生物を絞り込む大切な情報です。表 2 に症状別に想起すべき疾患をまとめます。

発熱以外に症状がはっきりしない場合には、血算・生化学検査、血液培養、インフルエンザ迅速検査をまずお勧めします。インフルエンザの検査が陰性で、血小板減少や肝機能障害があるようであれば、マラリアやチフス、デング熱の可能性が上がります。このような場合には、病院への紹介をご検討ください。

表 2 症状別に想起すべき疾患

| 症状 | 感染症 |
|----------------------|---|
| 発熱と皮疹 | デング熱、リケッチア症、チフス・パラチフス、急性HIV感染症 風疹、麻疹、水痘 |
| 発熱と腹痛 | 感染性腸炎、チフス・パラチフス、赤痢アメーバ |
| 発熱と咳嗽 | 肺炎、Q熱、住血吸虫症、肺吸虫症、インフルエンザ |
| 発熱と下痢 | 腸炎、チフス、マラリア、レジオネラ症、赤痢アメーバ |
| フォーカス不明 の発熱と血小板減少 | デング熱、チクングニア熱、チフス、急性HIV感染症 重症熱誠血小板減少症候群(SFTS) |

参考：渡航先の感染症情報は、前回の FORTH の他に、下記で得ることができます。

- ・ Fit for travel (<https://www.fitfortravel.nhs.uk/home>):国、地域別の詳しいマラリアマップを見ることができ、渡航地域での流行感染症を知ることができます。

- ・ CDC Traveler's Health (<http://wwwnc.cdc.gov/travel/>)

- ・ 2018 年 2 月時点のマラリアマップ

(https://www.cdc.gov/malaria/travelers/about_maps.html)

